（毎月1日・15日発行）定価一部5円　昭和28年6月10日 第三種郵便物認可　（第199号）

とまこまい

苫小牧市役所
編集発行人 新岡正敏
印刷所 苫小牧民報社

あなたの名前ありますか

十月末の有権者数は二万九千九百七十二人

～選挙名簿を至急確かめて下さい～

市選管委では、九月十五日現在調製の基本選挙人名簿登録人員を十月三十一日現在で取りまとめました。それによりますと、男一万四千六百二十五人、女一万五千三百四十七人計二万九千九百七十二人でこれは昨年十二月二十日現在の確定数二万八千七百五十八人（男一万四千四百十六人、女一万四千七百十二人）に比べて千二百十四人の増となつております。

なおこの基本人名簿は、十二月二十日に確定しますが、五日から市役所で縦覧（または写しを各家庭に回覧）を開始し十九日で終了いたしますが、名簿からもれている方は縦覧期間中に必ず異議の申立をして下さい。

この選挙人名簿に登録されていないと、選挙権がなくなり来年行われるいろいろな選挙（知事、市長、道議会議員、市議会議員、参議 院議 員など）に投票できません。

四百四十五人

○海区漁調委の有権者

九月十五日現在調製の胆振東部海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録人員は、十月三十一日現在の集計によりますと、男二百五十三人、女百九十一人、法人一（漁協組）計四百四十五人で、昨年十二月二十日の確定数四百五十七人（男二百六十二人、女百九十四人、法人一）に比べて十二人減つておりますが、これは毎年減員を示しております。

なおこの選挙人名簿も、十九日まで市役所または漁業協同組合で縦覧に供しております

人口動態（十一月一日現在）

▽世帯数 一二二三七世帯
▽人口 五六二五二人
▽出生 四九人
▽死亡 一四人
▽転入 三〇〇人
▽転出 一八八人
▽世帯数増 五六世帯
▽人口増 一四七人

苫小牧工業港の沿革とその将来

……（四）……

漂砂移動しても築港可能

26年10月 修築計画調査委員会の結論

（二）着工後の経過

昭和二十六年八月十八日、この日苫小牧市多年の宿願であつた苫小牧港の起工祝賀式が挙行されました。当日は午前十時から東中学校で、関係諸官庁、市内名士をまじえた約千人が参列して、感激の式典が行われ、築港現場には基石がすえられたのでした。その後、工事は逐年進展し、また各種調査もこれに平行して行われてきております。

❶苫小牧港修築計画調査委員会

昭和二十六年十月、日本港湾協会に対して、苫小牧港修築計画調査について技術的、経済的裏付を依頼したところ、これが採択され、苫小牧港修築計画調査委員会が設置されて、委員長には我が国港湾技術界の権威者である同協会副会長の鈴木雅次博士の就任をみました。これには協会から委嘱された七氏のほか中央、現地の関係機関が加わり、十月二十日から二十四日まで現地を実地調査、翌二十五日には委員会が開催されて調査内容を検討の上、苫小牧は臨海工業地帯適地であること、しかしてこれには工業港が必要であるが、その築設技術面については、特に問題となる漂砂の移動について慎重討議の結果、修築可能なりとの結論が出されました。これに基づき同協会によつて苫小牧築港事業の初期計画がなされ、これが運輸省の採用するところとなり、その後の実施計画策定の基礎となりました。この後も毎年一、二回鈴木博士が来道され、現地機関が参集して港湾築設調査会議がもたれ、技術的検討が加えられています。

牛のブルセラ病 結核病 検査

17日から もれなく受けて下さい

牛の結核病とブルセラ病検査は十七日からつぎの日程で行われますから もれなく受検して下さい。

なお検査日には結核病ツ反実施 ブルセラ病と肝てつ検診 判定日には結核病ツ反判定 牛の実査 ホル系種登録を行いますが 結核 ブルセラ（肝てつを含む）検査料は一頭につき成牛は百七十円 子牛は二百円 ホル系登録料（班紋用写真代を含む）四百二十五円となつております。

検査月日	時間 自	時間 至	地区	検査場所	判定日 月日	判定日 時間
11月17日	9・00	10・00	樽前	杉 牛舎	11月20日	9・00
	11・00	12・00		林 牛舎		10・00
	13・00	14・00		野村 牛舎	—	11・00
18日	9・00	10・00	樽前	西村 牛舎	21日	9・00
	13・00	14・00		池田 牛舎		10・00
19日	9・00	10・00	錦岡開拓	小野 牛舎	22日	9・00
20日	9・00	10・00	錦岡	寺林 牛舎	23日	9・00
	13・00	14・00		錦岡家畜検査場		10・00
	14・00	15・00				
21日	9・00	9・30	糸井錦岡	伊藤 牛舎	24日	9・00
	10・00	11・00		渡辺 牛舎		10・00
	13・00	14・00	糸井	矢野 牛舎		11・00
	14・00	15・00		佐藤 牛舎		12・00
22日	9・30	10・30	弁天開拓	森 牛舎	25日	9・00
	11・00	12・00		内山 牛舎		10・00
	13・00	14・00		弁天会館前		11・00
23日	9・00	9・30	弁天	下川部牛舎	26日	9・00
	9・30	10・30		佐藤 牛舎		10・00
	13・00	14・00	勇払	農場 牛舎		11・00
24日	9・00	9・30	静川	高橋 牛舎	27日	9・00
	9・30	10・00		元岡 牛舎		10・00
	13・00	14・00	柏原開拓	家畜検査場		11・00
	14・00	15・00		山本牛舎		
25日	9・00	10・00	柏原	島 牛舎	28日	9・00—10・00
	13・00	14・00		家畜検査場		11・00
26日	9・00	10・00	植苗	機農学校	29日	9・00
	13・00	14・00		今泉 牛舎		10・00
27日	9・00	9・30	美沢	中村 牛舎	30日	9・00
	9・30	10・30		溝口 牛舎		10・00
	13・00	14・00		橋向 牛舎		11・00
	13・00	14・00		田中 牛舎		12・00
28日	9・00	10・00	美沢 植苗	柴田 牛舎	12月1日	9・00
	13・00	14・00		伊藤（誠）牛舎		10・00
29日	9・00	11・00	植苗	高井 牛舎	2日	9・00
	13・00	14・00		遠藤 牛舎		10・00
30日	9・00	10・00	拓勇	矢内 牛舎	3日	9・00
	13・00	14・00	勇払開拓	泉 牛舎		10・00
	14・00	15・00		楢崎 牛舎		11・00
12月1日	9・00	10・00	中野 旭町	奥野 牛舎	4日	9・00
	10・00	11・00		旭 牧場		10・00
	13・00	14・00	糸井	中村 牛舎		11・00
	14・00	15・00		丹羽 牛舎		12・00

見事な出來ばえ

初の農産物品評会

市の第一回農産物品評会は二三日市民会館で行われましたが、出品総数は百九十七点で入賞者はつぎのとおりでした。この賞状賞品は、十五日市役所で行われる市管内農業実行組合長会議の席上授与されました。

なお余興として行われた家畜南瓜（重量一八・六五〇キロ）の重量あてクイズは九十七人が応募しましたが、正解者はなく、西町一五佐藤キンさん(三三)が一八・七五〇キロで懸賞金（五百円）を獲得しました。

第一種穀菽類（七二点）▽最優秀賞（小豆）樽前池田巌▽優秀賞（花豆）静川小笠原藤芳、糸井込山藤太郎（菜豆）弁天阿部善一、糸井山本重次（小豆）錦岡島中勇治、糸井山本重次、柏原元岡秀雄（二点）（大豆）樽前村上斉（えん麦）柏原元岡秀雄、糸井加藤貞雄（とうきび）植苗織田昇、樽前加藤春吉、植苗今泉治

第二種蔬菜、根菜（八五点）▽最優秀賞（馬鈴薯）柏原三好実▽優秀賞（ごぼう）弁天西館三太郎（にんじん）緑町丁子祐三郎、静川亀力森兼吉（長芋）樽前瀬田川重太郎（長ねぎ）緑町丁子祐三郎、拓勇木津勇太郎（キャベツ）糸井近井清一（馬鈴薯）錦岡小野一郎、静川亀力森兼吉、柏原牧武、牧義一、川野忠克、錦岡小野丑蔵（大根）糸井丹羽秀雄、柏原福永寿一、錦岡島中雄二（甜菜）柏原山本善児（南瓜）柏原佐藤豊

第三種飼料作物（四〇点）▽最優秀賞（家畜ビート）柏原宿田光信▽優秀賞（乾草）糸井谷口俊信、柏原元岡秀雄（ルタバカ）樽前細川登、西村清松（家畜ビート）柏原中沢久、牧義一、樽前杉義信、植苗織田昇（家畜南瓜）拓勇矢内兵衛、植苗斎藤秋男

（写真はにぎわつた農産物品評会）

小野教育委員長再任

十月二十四日開かれた市教育委員会で、任期満了に伴う委員長の改選を行つた結果、小野實氏が再任、委員長代理には川村武夫氏（新）が選ばれました。

小・中校教員異動

▽緑小学校教諭藤島文夫（幌別西小教諭）十月一日付▽勇払小学校教論相沢威（函館学大新卒）▽錦岡小学校教論小野寺和男（新冠小教論）▽東中学校教論荻原幾弥（浦河中教論）▽北光小学校教論高橋久雄（勇払小教論）以上十月十六日付

校長異動

丸山小学校長幅田八十吉（北光小教頭）十一月一日付

行旅死亡人の身寄りについて

苫小牧市告示第七十一号

昭和三十三年十一月八日

苫小牧市長 田中正太郎

去る十月二十四日当市で行旅病人として市立総合病院に収容加療中、十一月七日死亡した白田喜平さん（写真）の死体は当市に収容してありますから、お心当りの方は市福祉事務所までお出でになるか、又はご照会下さい。

①本籍＝茨城県鹿島郡大谷村大字田崎二、三一八番地②氏名、生年月日＝白田喜平（明治三十四年五月二十六日生）男③特徴＝白毛交り長髪、老眼鏡使用、背丈五尺三寸位、やせ型長身④着衣＝紺夏物背広上衣、コゲ茶夏物ジャンバー、メリヤスシャツ、毛糸ネズミチヨツキ、黒毛糸セーター、薄紺毛糸ズボン下、紺平ズボン、綿入れ（チャンチャンコ）地下足袋（十文七分）⑤遺留品＝現金百五十五円国鉄乗車券（厚賀—札幌）一枚、メモ手帳、ボールペン、拡大鏡⑥死因＝胃癌（幽門部？）⑦死亡場所＝市立総合病院⑧死亡月日＝十一月七日午後五時十五分

年末金融始まる

来月十日まで 中小企業者は利用を

道では各金融機関及び北海道信用保証協会の協力を得て本年もまた昨年同様、中小企業に対する年末金融をつぎの要領により実施することになりましたが、特に当市は王子争議下にあり、売上げの減少、売掛金の渋滞など経営は逐次不振を招いており、資金繰りの不円滑による経営難は年末をひかえなお一そう深刻化するものと考えられますので、この制度を利用され、年末の苦境を打開されるようおすすめします。

①貸付対象＝中小企業者（商工中金の場合は組合及び組合員に限る）但し、遊興、娯楽など不急な業種を除く。②貸付金額＝一口五十万円以内、但し組合（商工中金扱い）の場合は必要により二百万円（転貸資金にあつては五百万円）以内とすることができる。③資金の使途＝運転資金④貸付期間＝四カ月⑤貸付利率＝各金融機関の貸付利率による。⑥担保＝原則として担保を必要とするが、一口の貸付金額二十万円以内の場合は担保に替えて保証人を付し、取扱うことができる。⑦保証＝北海道信用保証協会の保証付とする。⑧取扱期間＝十一月十日から十二月十日まで。

16粍映写機操作技術講習会

市教委では、十二月四、五日公民館で十六ミリ映写機操作技術者養成講習会を開催いたしますから、希望者は来月二日までに市教委又は公民館にお申込下さい。申込用紙は教育委員会にあります。

第一日＝視聴覚教育、一般常識、映写機の構造、電気、映写機の取扱、フィルム接合、映写機の実習

第二日＝試験（常識、構造、電気、フィルム接合、機械操作）

検定に合格すれば免許証を交付します。詳細は市教委社会教育係におきき下さい。

道・市民税 第三期分

22日督促状出す

道・市民税第三期分の督促状が二十二日に発付されます。まだ納めてない方は至急納入して下さい。なお二十二日以後になりますと督促手数料が加算され、滞納処分の対象になりますからご注意下さい。

危険物取扱者主任免許証更新へ

市消防本部で手続を

昭和二十八年十二月一日付で交付を受けた危険物取扱主任者免許証（乙種免許証）＝免許証番号第五十四号から第八十三号まで）を所持している方は、免許証の更新をいたしますから市消防本部へ手続きをして下さい。

海空自衛隊操縦学生募集

海上自衛隊及び航空自衛隊では、優秀な幹部操縦要員を養成するために操縦学生（海上自衛隊約七〇人、航空自衛隊約三十人）を募集中です。応募資格は来年四月一日現在十八才以上二十才未満の高校卒業者又は卒業見込者で、志願希望者はくわしいことを市総務課にきいて十二月五日までに自衛隊札幌地方連絡部（札幌市北一西十）へ受験手続をして下さい。

滞納市税ついに完納

奥野さんらと室蘭石炭など　多年納期内に完納して他に垂範

柏原納税組合

表彰に輝く　優良納税者と団体

市の三十二年度優良納税者　団体の表彰式は七日午後一時から市役所三階議員控え室で行われ田中市長からつぎの個人十二氏と五団体に表彰状や感謝状が贈られました。

▽納税組合協力団体（感謝状）＝柏原納税組合（組合長牧義二）

酪農地帯である柏原部落（開拓団を除く）は、長年にわたる不作不況つづきで部落民の生活も極度につまつて市税も納入できない状態となり滞納額も毎年ふえてゆくばかりでついに五十万円を越え、納税するあてもなく全く困窮してしまいました。ところがこの窮状を何とかして打開しようと、昭和三十年三月から現組合長牧義一さんの努力により部落民全員（三十人）が自主的に納税組合を設立いたしました。そして毎日しぼる牛乳代の中からそれぞれ計画的に積立てて特に市税だけの納入にあてついに滞納市税を完納いたしました。

▽満十カ年納期内完納者（表彰状）＝栄町奥野登、表町今二泉金作、栄町加藤孝作、栄町工藤ツ子

▽満五カ年納期内完納者（表彰状）＝木場町小川佐武郎、大町金子重次郎、弁町宇良田俊、中野工藤政治、旭町小山国六、末広町北川孫次郎、大支所用農業協同組合連合会苫小牧売株式会社、表町北洋相互銀行苫小牧支店、旭町北海道信

▽特別徴収満五カ年納期内完納感謝状）＝表町室蘭石炭部落民全員（三十人）

▽納税組合協力団体（感謝状）＝柏原納税組合（組合長牧義二）

（写真…上は表彰された優良納税者たち　下は社会教育功労者と優良団体の表彰式）

人気を呼んだ文化祭

市民待望の第十回市文化祭は三日の『文化の日』を中心に東小の総合展示会場など十一カ所で三十数種目の行事がくりひろげられましたが、ことしはいろいろ新しい行事がおりこまれ、それに好天続きで連日大にぎわいでした。（写真東小の総合展示会場における（上）市制施行十周年記念市勢展示会（下）郷土文化財展の一部）

門脇松次郎さんと苫小牧合唱団表彰

郷土の文化振興に尽した功績大

市教委では、文化の日にちなんで五日午後六時から王子娯楽場で社会教育功労者として門脇松次郎氏（三）（市消防団長）を、また社会教育優良団体として苫小牧合唱団（委員長高橋哲夫氏）を表彰しました。引続き苫小牧音楽連盟主催の〝音楽の夕〟が盛大に行われました。

門脇松次郎氏は美術協会を初めとし戦後文化協会の結成、それに公民館、図書館設置への促進、成人学校の開設など郷土の文化教育の振興に尽した功績は大きく、また野球、陸上競技、スケートなど市のスポーツ界にも三十有余年の長い間貢献して市民の体位向上とその普及に果した役割も特筆すべきものです。なお去る八月十五日行われた市制施行十周年記念式にも教育功労者として市から表彰されております。

苫小牧合唱団は昭和二十六年十二月発足以来、まだ七年位しかたつておりませんが、会員相互がその目的である趣味をかかねた情操の向上と人間の調和の達成に堅実な歩みをみせております。誕生わずか八カ月で早くも単独発表会を開き、二十九年末には市内の音楽団体の結合と市民音楽会の実施を提唱し自らの活動を通じてこれを実現させました。また三十年六月、公民館のピアノ購入にあたり資金造成のため音楽会を開いたり、音楽講座の助成や各職場サークルの指導に尽しました。このほか管外活動も活発で、NHK室蘭放送局から、二十八年二月から本年六月まで五回にわたり放送して高く評価されております。このように郷土音楽文化の進展のため不断の努力と精進は他の模範として今後に大きな期待がかけられております。（現在の会員四十五人）

圖書館から

市立苫小牧図書館では、市周辺の僻地に対して図書を定期巡回して読書の機会を与えておりますが、雑誌類（児童向雑誌や絵本などを含む）まで充分に配本できず、ご希望にこたえられない実状です。それで皆さまのご協力によりこのたび、雑誌の寄贈運動を行うことになりましたので、多少の月遅れでも結構ですからご寄贈願います。

またこの運動はこんご毎月続行したいと存じますから、発行されるたびにご寄贈下されば幸です。

なおご寄贈雑誌は、誠に勝手ですが、市立図書館又は公民館へお届け下さい。

ご寄贈雑誌の一例＝平凡、小説サロン、日本、講談倶楽部、面白倶楽部、映画ファン、近代映画、オール読物、新潮、小説新潮、新女苑、主婦の友、婦人倶楽部、朝日・読売・毎日・女性・サンケイの各週間雑誌及び増刊号など、少年クラブ、少女クラブ、少年、少女、野球少年、小学一年生から六年生、たのしい一年生から四年生、ぼくら、なかよし、中学コース、中学生の友など各児童雑誌、中学時代、中学生用雑誌その他幼年向絵本など

××××××××××

今月から閲覧時間変りました

市立図書館では、冬季に備えて一日から閲覧時間をつぎのとおり変更（三月末まで）することになりました。

『館内閲覧時間』

▽平日（月曜から金曜まで）＝午前十時から午後六時まで

▽土曜＝午後一時から四時まで

▽休館日＝毎日曜、毎月末日国民の祝日

『館外閲覧』＝個人、団体とも図書の館外閲覧の貸受、返納は右の館内閲覧の時間中に手続きして下さい。方法は従来どおりです。

米寿を記念して胸像贈る

小保方さん、いつまでもお元気で

名誉市民小保方卯市翁（八）の米寿祝賀会は、田中市長、岩倉組社長らが発起となり、五日午前十一時から産業会館で盛大に行われましたが、席上田中市長から〝翁の肖像画〟参会者一同（約百六十人）から〝翁の胸像〟が贈られました（写真は盛大だつた祝賀会）

岩倉さん表彰

本道開発功労者

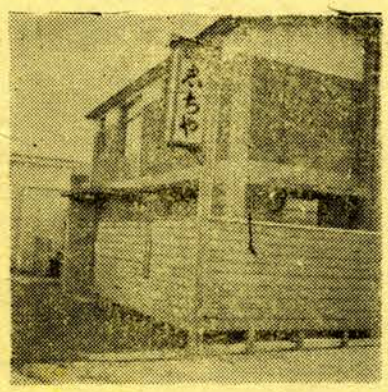
岩倉組社長岩倉巻次氏（六四）は二十三日札幌市自治会館で行われる開道九十周年記念式に本道開発功労者（二十四人）として表彰されます。

お年玉つき年賀ハガキ発売

お年玉つき年賀葉書は、市内各郵便局（苫小牧局、駅前局東町局、弥生局、勇払局）で十五日から一せいに売出しました。

利子が安いので評判の公益質屋をご利用下さい

営業場所は錦町出雲神社前です



▽貸付利子＝一カ月三分（半月一分五厘）

▽貸付期限＝四カ月

▽貸付金額＝生活資金（一万円まで）と生業資金（一万五千円まで）との二通りありますが、御希望に応じて御相談申上げます。

▽営業時間＝午前九時から午後六時まで（但し、日曜と祝祭日は休業いたします）

初等教育とメートル法

加藤虎雄

私達の生活は文化が進めば進むほど計量をはなれた生活は絶対になりたたない。しかもこの状態はさらにさらに進行してゆくものと考えられる。

しかし計量の中で毎日の生活上直接に関係のふかいものは何といつてもメートル法使用の問題である。まづ私達の家庭の中の身近な状態から考えてみてもうなずけるように老人にとつては尺貫法が絶対であり、中年の人達にはおおむね尺貫法とメートル法の混用であり、若年層にとつてはおよそメートル法が使用されているといえる。したがつて学校教育における児童の計量的生活に混迷が起りやすい計量生活は観念的なものの見方によつて身につくものではなく、実験とか体験によつて覚えられるものである。たとえば『明日のお米を大合とぎなさい』といわれたとき、六合とは何〆かに子供は混乱を感じ、ここに換算の必要が出て来る。味噌正油、和裁、洋裁、魚菜などすべてがこの調子では誠にやり切れないことであろう。

あるいは思い過ごしかも知れないが、こんなところから親と子の調和にさ少なからも傷がつき、やがて子供は数量的生活に興味を失い、算数的学習にまで失意を感じないともかぎらない。もちろん長年使い慣れてきた尺貫法は、大人の生活から取去ることのできない計量観念であり、体得である。また現在はメートル法使用の過渡期であるから、ある程度の混乱はやむを得ないとしてもメートル法使用が公布された以上この辺でしつかりとふんぎりをつけ、各人が自覚とえい知によつて子供の数量的生活に深い関係をもつメートル法の使用について理解と励みを与えてゆきたいと考えるものである。

子供ながらにメートル法の規定を覚えさせ、経済生活面の能力を身につけさせたり、科学的技術面にメートル法を充分に、しかも積極的に活用させ尺貫法などの換算に子供のエネルギーを乱費させたくないものである。

無理なく、無駄なく、むらなく、これが教育方法の原理であり、社会生活にも直結するものである。

（東小学校長）